

## 製品名: Cripto1 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe86555

研究使用のみ

### 概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, FC, IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

### 応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000, ICC/IF 1:200-1:500, FC 1:200-1:500, IP 1:10-1:100
分子量	Calculated MW: 21 kDa; Observed MW: 21, 18 kDa

### 抗原情報

遺伝子名	Cripto1
別名	CR; CRGF; CRIPTO
遺伝子 ID	6997
SwissProt ID	P13385
免疫原	ヒト Cripto1 の合成ペプチド

### 背景

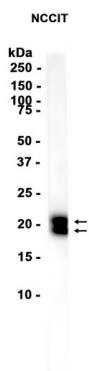
この遺伝子は、クリプトドメイン、FRL-1 ドメイン、およびクリプトドメインを含む上皮成長因子関連タンパク質をコードしています

す。コードされているタンパク質は細胞外膜結合型シグナル伝達タンパク質であり、胚発生および腫瘍増殖に重要な役割を果たします。この遺伝子の変異は前脳機能障害と関連しています。この遺伝子の偽遺伝子は、2番染色体、3番染色体、6番染色体、8番染色体、19番染色体、およびX染色体上に存在します。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエントが生じます。[RefSeq提供、2010年3月]

## 研究分野

-

## 画像データ



Cripto1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した NCCIT 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。